

**アドインマスター参照照合プログラム  
for アシスタック Pro BHT-800  
取扱説明書 第1版**



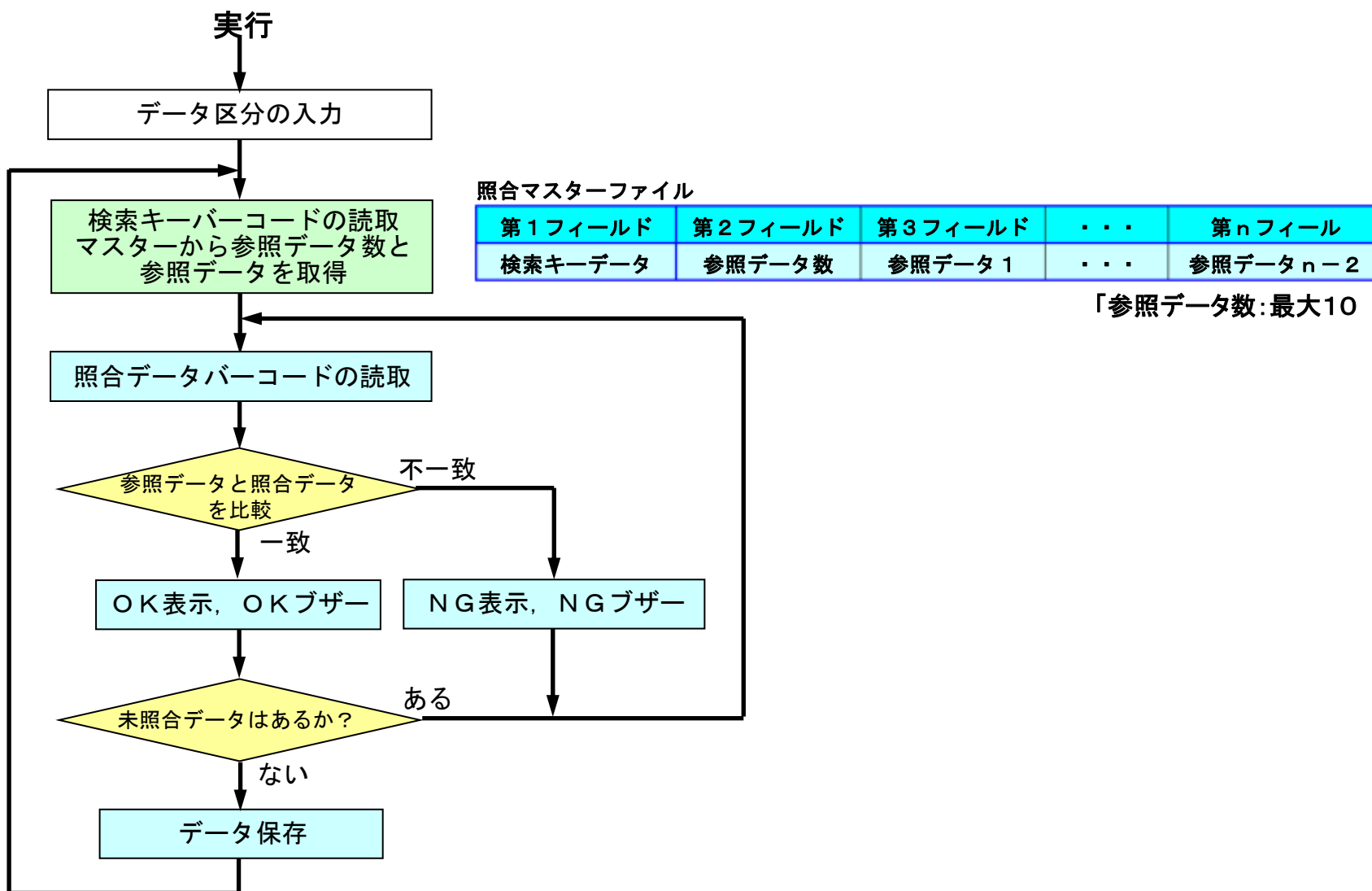
2014年 11月 10日  
コンピュータ・アシスト株式会社

## 目次

1 機能概要 .....	1
2 動作設定 .....	2
2-1 データ区分 .....	3
2-2 照合条件 .....	4
2-2-1 検索キー入力 .....	5
2-2-2 照合データ入力 .....	6
2-2-3 照合結果 .....	6
2-2-4 バーコード読取設定 .....	8
2-3 データ保存 .....	20
2-4 データ更新 .....	22
3 マスターファイル .....	23
3-1 マスターファイル作成 .....	23
3-2 マスターファイル送信 .....	24
4 ハンディターミナルプログラム .....	26
4-1 アドインマスター参照照合プログラムダウンロード .....	26
4-2 業務設定更新 .....	28
4-3 アドイン照合プログラム実行 .....	29
4-4 登録順照合 .....	30
4-5 順不同照合 .....	31
4-6 入力/データ処理エラー表示 .....	32
4-7 保存データ送信 .....	33
4-8 マスターファイルダウンロード .....	34

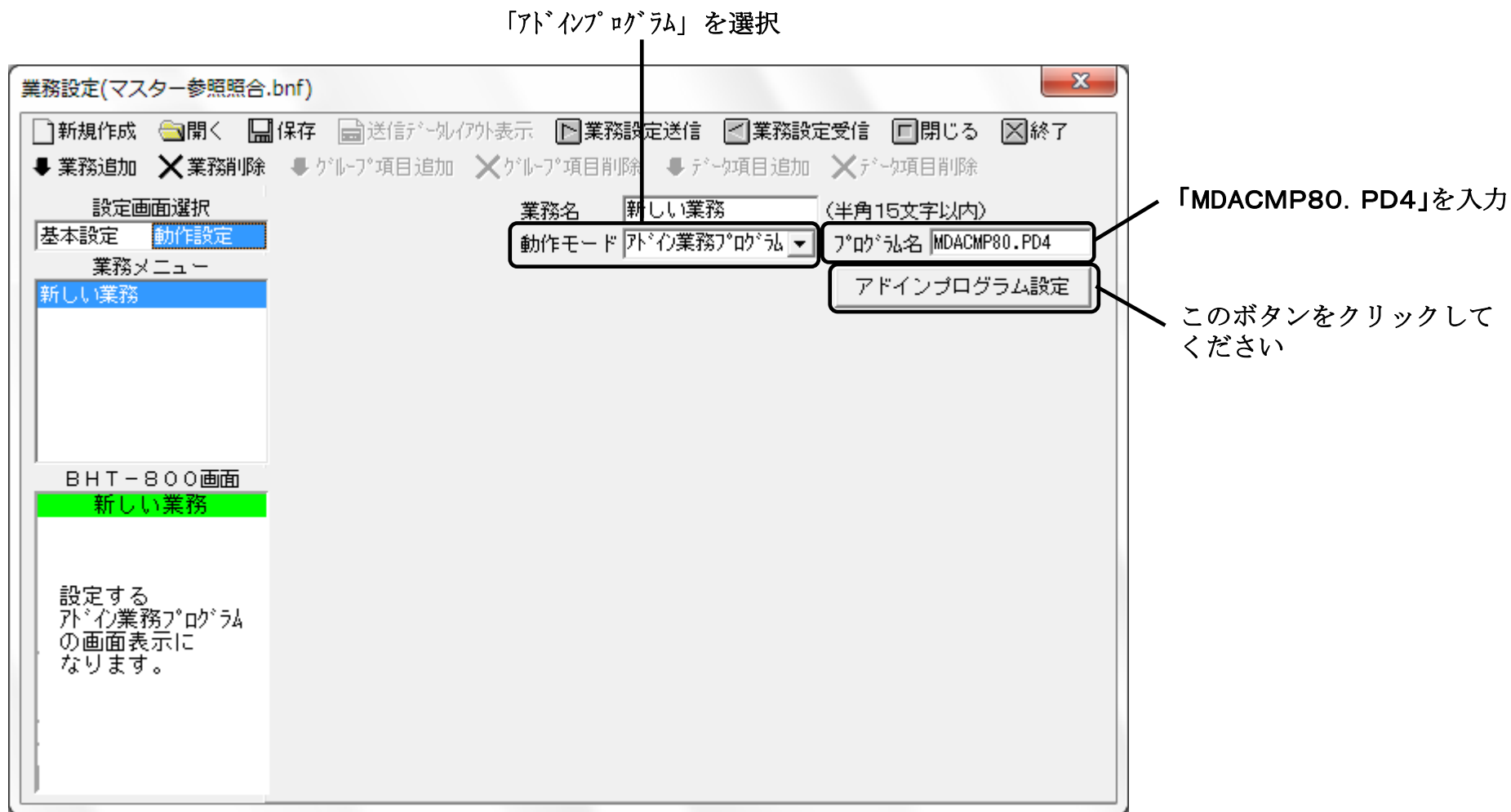
## 1 機能概要

検索キーバーコードを読み取り、マスターファイルから参照データ数と参照データを取得し、次に読み取った照合データと比較し、一致した場合はOK、不一致の場合はNGを表示して、設定条件に従ってデータを保存します。



## 2 動作設定

業務設定において、動作モードに「アドインプログラム」を選択し、プログラム名に「MDACMP80. PD4」を設定して「アドインプログラム設定」ボタンをクリックしてください。



## 2-1 データ区分

担当者コードなどのデータ区分を使用する場合は、「データ区分」をクリックして[データ区分を使用する]をチェックしてください。

ここをクリック

「データ区分」を使用

マスターファイルを使用して情報を表示する場合はここをチェックして「マスターファイル」を設定します。

設定項目	説明
項目名	入力項目の表示文字列を入力します。
データ形式	文字列, 数字(0 詰め表示), 数字(0 半角表示), 日付(YYYY/MM/DD), 日付(YY/MM/DD), 日付(MM/DD), 時刻(HH:MM)から選択します。
データ表示	入力データの標準表示, 横倍表示を設定します。
入力桁数	データ形式が文字列, 数字(0 詰め表示), 数字(0 半角表示)のデータ入力桁数を、最大, 最小で制限します。 入力範囲: 1 ~ 180
バーコード	[バーコード 使用] をチェックして、[バーコード 読取設定] ボタンをクリックすると設定画面を表示します。
文字列表示マスター	[文字列表示マスターファイルを使用する] をチェックして、表示用マスターファイルを設定してください。 [マスターデータがない場合エラー]を設定すると、入力したデータがマスターファイルに登録されていないとエラーになります。

## 2-2 照合条件

検索キー入力、照合データ入力、照合結果を設定します。

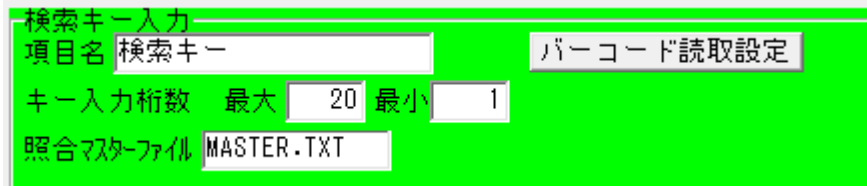
ここをクリック

検索キー入力に関する設定をします。

照合データ入力に関する設定をします。

照合結果の表示時間とブザー動作を設定します。

## 2-2-1 検索キー入力



### 1) 項目名

検索キー入力項目の表示文字列を入力します。

### 2) バーコード読取設定

検索キー入力項目におけるバーコード読取設定画面を表示します。

### 3) キー入力桁数 最大／最小

検索キーデータにおけるキー入力桁数の最大／最小（1～180）を設定します。範囲外の入力は、入力エラーになります。

### 4) 照合マスターファイル

照合に使用するマスターファイルを設定します。

#### ●ファイルのフィールド構成

〈検索キー〉〈参照データ数〉〈参照データ 1〉・・・〈参照データ n〉

参照データ数：1～10

注) 各データを半角3500桁以内で作成してください。

マスターファイルを作成する場合は、大きい参照データ数にフィールド構成を合わせてください。

#### □ファイル作成例

##### a) 参照データ数が全て5の場合

〈検索キー〉〈5〉〈参照データ 1〉〈参照データ 2〉〈参照データ 3〉〈参照データ 4〉〈参照データ 5〉

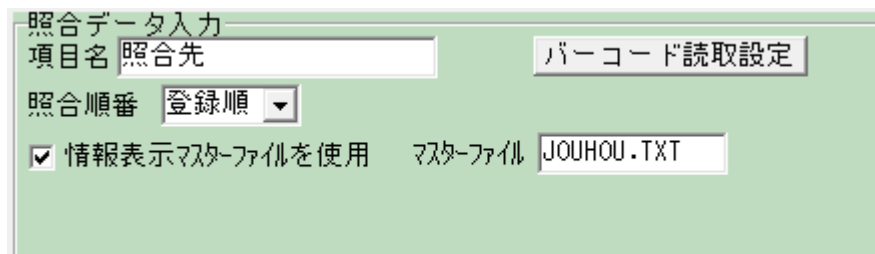
##### b) 参照データ数が2, 3と4がある場合

〈検索キー〉〈3〉〈参照データ 1〉〈参照データ 2〉〈スペース〉〈スペース〉

〈検索キー〉〈3〉〈参照データ 1〉〈参照データ 2〉〈参照データ 3〉〈スペース〉

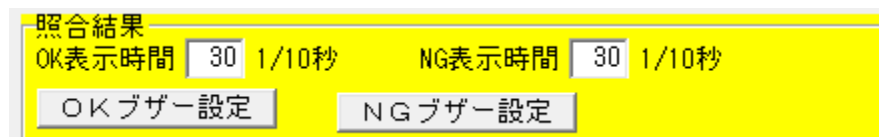
〈検索キー〉〈4〉〈参照データ 1〉〈参照データ 2〉〈参照データ 3〉〈参照データ 4〉

## 2-2-2 照合データ入力



- 1) 項目名  
照合データ入力項目の表示文字列を入力します。
- 2) バーコード読取設定  
照合データ入力項目におけるバーコード読取設定画面を表示します。
- 3) 照合順番  
照合順番が登録順（照合データ 1，照合データ 2・・・の順番）または順不同を選択します。
- 4) 情報表示マスター  
「情報表示マスターファイルを使用する」をチェックして、マスターファイルを設定すると、照合データで検索した情報を表示します。
  - ファイルのフィールド構成  
〈照合データ〉〈情報表示データ〉  
注) 各データを半角 3 5 0 0 桁以内で作成してください。  
照合データ，情報表示データの後に 1 8 フィールドあっても動作します。

## 2-2-3 照合結果



OK/NGを表示する時間を、1/10秒単位で0～99の数値を設定します。  
0を設定した場合は表示しません。99を設定した場合は表示し続けます。



●OK／NGブザー設定

WAVファイルを設定した場合は、WAVファイルを使用します・  
WAVファイルを設定しない場合は、周波数、鳴動回数、鳴動時間、休止時間を使用してブザー、バイブレータを動作させます。

設定項目	説明
WAV ファイル	下記の形式の音声ファイルを設定します。 ① ファイル形式           WAV ② オーディオ形式       PCM (リニアPCM) ③ サンプル周波数       8 KHz ~ 48 KHz ④ サンプルサイズ       8 b i t , 16 b i t ⑤ チャンネル           1 c h (モノラル) , 2 c h (ステレオ) 2 c h の場合、l e f t チャンネルを再生
周波数	0=低音 1=中音 2=高音   62~5000Hz   3~61 の値は設定できません。 0, 1, 2 を設定した場合、「LCD コントラスト/ブザー/バイブレータの調整画面」でブザー音量を変更することができます。 62~5000Hz を設定するとブザーの音量は最大となり、変更することができません。
鳴動回数	0~99   0 を設定するとブザーは鳴りません。
鳴動時間	1~99   1/10 秒単位で設定
休止時間	1~99   1/10 秒単位で設定
動作デバイス	ブザー、バイブレータ、ブザー+バイブレータから選択

## 2-2-4 バーコード読取設定

担当者 バーコード読取設定 (BHT-800)

読取バーコード

☐ JAN/EAN/UPC ☐ 書籍コード ☐ 雑誌コード

☐ ITF ☐ なし ☐ あり ☐ STF ☐ なし ☐ あり

☐ NW7 ☐ なし ☐ あり ☐ Code39 ☐ なし ☐ あり

☐ Code93 ☐ GS-128/EAN-128/Code128 ☐ GS1 DataBar

☐ QRコード ☐ PDF417 ☐ Data Matrix

☐ MaxiCode ☐ EAN-UCC Composite

☐ ユーザー定義

☐ JAN/EAN/UPC を GTINコードに変換

☐ ITF/STF/NW7/Code39 のチェックデジットをデータに含めない

データフォーマット 固定長

☒ データチェックを使用する

検査データ位置 1桁目から

検査データ

検査方法 一致しなかったら入力エラー

データ選択 1桁目から 4桁

☒ 指定文字を削除する 削除する文字

キャンセル 確定

「1桁目から4桁」と設定した場合は、読み取ったバーコードデータの「1桁目から4桁」がデータ項目のデータになります

「9999桁目から4桁」と設定した場合は、「末尾から4桁」がデータ項目のデータになります。指定文字削除を設定すると選択したデータから指定文字を削除します。

設定項目	説明
読取バーコード	使用するバーコードをチェックします。複数バーコードの設定が可能です。読取バーコードを独自に設定する場合は、ユーザー定義をチェックしてバーコード読取内容を入力します。ユーザー定義の場合はチェックしたバーコードの読取は無効になります。
読取桁数	読取桁数の最大と最小を設定します。NW7の場合はスタート/ストップキャラクタを含めた桁数を設定します。読取バーコードが最小桁数未満または最大桁数を超える場合は、「バーコード桁数エラー」と表示します。
GTIN変換	「JAN/EAN/UPC を GTINコードに変換」をチェックすると、JAN/EAN/UPC のバーコードを読取った場合に GTINコードに変換します。
チェックデジットをデータに含めない	「ITF/STF/NW7/Code39 のチェックデジットをデータに含めない」をチェックすると、ITF/STF/NW7/Code39 においてチェックデジットを設定してバーコードを読取った場合、チェックデジットを除いたデータになります。
データフォーマット	データ区分の場合は固定長になります。
データチェック	「データチェックを使用する」をチェックして、チェックするデータ位置とデータを設定します。チェック方法は、「一致しなかったらエラー」、「一致したらエラー」から選択します。
データ選択	GTIN変換、チェックデジットをデータに含めない処理をしたバーコードデータからデータ項目のデータにするデータを選択します。
指定文字を削除	指定した半角文字を削除して項目データにします。半角3文字まで設定できます。

## ○ 読取バーコード

バーコード	備考
JAN/EAN/UPC	JAN-13, JAN-8, EAN-13, EAN-8, UPC-A, UPC-E + アドオンコード
書籍コード	先頭97のJAN-13と先頭19のJAN-13の2段バーコード読取 読み取ったデータは、26桁のデータになります。 <b>注) JAN/EAN/UPCを同時に指定しないでください。</b>
雑誌コード	先頭49のJAN-13+アドオンコード5桁の合計18桁のデータ <b>注) JAN/EAN/UPCを同時に指定しないでください。</b>
ITF	チェックデジット (モジュラス10) の設定可能
STF	チェックデジット (モジュラス10) の設定可能 (BHT-800Bのみ)
NW7	チェックデジット (モジュラス16) の設定可能
Code 39	チェックデジット (モジュラス43) の設定可能 数字 (0~9), 英字 (A~Z), 6種類の記号とスペース
Code 93	数字 (0~9), 英字 (A~Z), 6種類の記号とスペース
GS1-128/EAN-128/Code128	GS1-128, UCC/EAN-128とCode128 数字 (0~9), 英字 (A~Z, a~z), 記号
GS1 DataBar	リミテッド, エクスパンデッド, エクスパンデッドスタック
QRコード	マイクロQR, QRモデル1, QRモデル2 (BHT-800Qのみ)
PDF417	マイクロPDF417, PDF417 (BHT-800Qのみ)
Data Matrix	正方形 Data Matrix, 長方形 Data Matrix (BHT-800Qのみ)
MaxiCode	BHT-800Qのみ
EAN・UCC Composite	共通商品コード, EAN-128, RSSのCOMPOSITEバーコード (BHT-800Qのみ)
ユーザー定義	2段バーコード, 3バーコード (BHT-800Qのみ) の読取設定など、ユーザー独自に読取設定 をする場合に使用します。 ユーザー定義チェックボックスをチェックして下記の書式で入力してください。 <第1読み取りコード>, <第2読み取りコード>, . . . . . , <第20読み取りコード> <b>不正な設定をすると、HTプログラムにおいてエラーが発生しますので注意してください。</b>

## ■読取バーコードのユーザー定義

読取バーコードのユーザ定義は、ユーザ定義チェックボックスをチェックして下記の書式で入力してください。

＜第1読み取りコード＞, ＜第2読み取りコード＞, . . . . . , ＜第16読み取りコード＞

[illegible]

BHT-BASICプログラミングマニュアル（BHT-800シリーズ用）より

## ■ 読み取りコード (BHT-800B)

読み取りコードには、共通商品コード（JAN, EAN, UPC）、インターリーブド2of5（ITF）、Codabar（NW7）、Code39、Code93、Code128、スタンダード2of5（STF）、RSS があります。

☐ 共通商品コード (JAN, EAN, UPC)

書式： A [ : [コード] [ 1 文字目 [ 2 文字目 ] ] [ サプリメンタル ]

コードには、次のどれかを指定してください。

コード	バーコードタイプ
A	EAN-13 (JAN-13) , UPC-A
B	EAN-8 (JAN-8)
C	UPC-E

コードを省略すると、上の共通商品コードのどれでも読むことができます。

1文字目と2文字目は先頭文字（国フラグ）であり、0～9の数字で指定してください。

サプリメンタルにSを指定すると、サプリメンタルコードの読み取りが可能になります。

□ インターリーブド 2 of 5 ( I T F )

書式： I [: [最小桁数 [-最大桁数] ] [CD]

**最小桁数と最大桁数**は、バーコードの最小桁数と最大桁数です。2～99の値を指定できますが、**最小桁数 $\leq$ 最大桁数**でなければなりません。**最小桁数と最大桁数**の両方を省略すると、システムモードで設定された最小読み取り桁数から99桁までのバーコードを読み取ることができます。**最大桁数**だけを省略すると、**最小桁数**で指定した桁数のバーコードしか読み取れません。

CDにCを指定すると、チェックデジットが指定されて、バーコードはMOD-10によりチェックされます。桁数にはチェックデジットも含まれます。

#### □ C o d a b a r (NW7)

書式： N [ : [最小桁数 [-最大桁数] ] [スタート ストップ] [CD]

最小桁数と最大桁数は、バーコードの最小桁数と最大桁数です。2～99の値を指定できますが、**最小桁数≤最大桁数**でなければなりません。最小桁数と最大桁数の両方を省略すると、システムモードで設定された最小読み取り桁数から99桁までのバーコードを読み取ることができます。最大桁数だけを省略すると、最小桁数で指定した桁数のバーコードしか読み取れません。

スタートとストップは、スタートキャラクタとストップキャラクタです。A, B, C または D を指定してください。桁数には、スタートキャラクタとストップキャラクタも含まれます。

CD に C を指定すると、チェックデジットが指定されて、バーコードはMOD-16によりチェックされます。桁数にはチェックデジットも含まれます。

#### □ C o d e 3 9

書式： M [ : [最小桁数 [-最大桁数] ] [CD]

最小桁数と最大桁数は、バーコードの最小桁数と最大桁数です。2～99の値を指定できますが、**最小桁数≤最大桁数**でなければなりません。最小桁数と最大桁数の両方を省略すると、システムモードで設定された最小読み取り桁数から99桁までのバーコードを読み取ることができます。最大桁数だけを省略すると、最小桁数で指定した桁数のバーコードしか読み取れません。

CD に C を指定すると、チェックデジットが指定されて、バーコードはMOD-43によりチェックされます。桁数にはチェックデジットも含まれます。

#### □ C o d e 9 3

書式： L [ : [最小桁数 [-最大桁数] ]

最小桁数と最大桁数は、バーコードの最小桁数と最大桁数です。2～99の値を指定できますが、**最小桁数≤最大桁数**でなければなりません。最小桁数と最大桁数の両方を省略すると、システムモードで設定された最小読み取り桁数から99桁までのバーコードを読み取ることができます。最大桁数だけを省略すると、最小桁数で指定した桁数のバーコードしか読み取れません。

#### □ GS1-128/EAN-128/Code 128

書式: K[: [最小桁数 [-最大桁数]]]

**最小桁数と最大桁数**は、バーコードの最小桁数と最大桁数です。2～99の値を指定できますが、**最小桁数 $\leq$ 最大桁数**でなければなりません。**最小桁数と最大桁数**の両方を省略すると、システムモードで設定された最小読み取り桁数から99桁までのバーコードを読み取ることができます。**最大桁数**だけを省略すると、**最小桁数**で指定した桁数のバーコードしか読み取れません。

#### □ スタンダード2of5 (STF)

書式: H[: [最小桁数 [-最大桁数]] [CD] [スタート ストップ]]

**最小桁数と最大桁数**は、バーコードの最小桁数と最大桁数です。2～99の値を指定できますが、**最小桁数 $\leq$ 最大桁数**でなければなりません。**最小桁数と最大桁数**の両方を省略すると、システムモードで設定された最小読み取り桁数から99桁までのバーコードを読み取ることができます。**最大桁数**だけを省略すると、**最小桁数**で指定した桁数のバーコードしか読み取れません。

**CD**に**C**を指定すると、チェックデジットが指定されて、バーコードはMOD-10によりチェックされます。桁数にはチェックデジットも含まれます。

**スタートとストップ**は、スタートキャラクタとストップキャラクタに標準、短縮のどちらの形式を用いるかを選択します。**N**を指定すると標準、**S**を指定すると短縮が選択されます。省略すると、どちらの形式でも読み取り可能です。

#### □ GS1 DataBar (RSS)

書式: R

## ■ 読み取りコード (BHT-800Q)

読み取りコードには、2DコードのQRコード、PDF417、MaxiCode、DataMatrix、EAN・UCC Compositeおよび共通商品コード(JAN, EAN, UPC)、インターリーブド2of5(ITSF)、Codabar(NW7)、Code39、Code93、Code128、RSSがあります。

### □ QRコード

書式: Q[:[シンボル種別][最小コードバージョン][-最大コードバージョン][連結モード]]]

シンボル種別には、次の値が設定可能です。

シンボル種別	読み取り可能コード
S	マイクロQR
M	QRモデル1
L	QRモデル2

シンボル種別を省略すると、マイクロQR、QRモデル1、QRモデル2を読むことができます。

最小コードバージョンと最大コードバージョンは、読み取り可能なQRコードの最小と最大のコードバージョンで、シンボル種別ごとに次の値が設定可能です。

設定可能コードバージョン	シンボル種別
1～4	S
1～22	M
1～40	L

最小コードバージョン≤最大コードバージョンでなければなりません。

最小コードバージョンと最大コードバージョンの両方を省略すると、各シンボル種別の最大コードバージョンまでのQRコードを読み取ることができます。最大コードバージョンだけを省略すると、最小コードバージョンで指定したバージョンのQRコードしか読み取れません。

連結モードにEを指定すると、最大16分割されたQRコードシンボルの読み取りを許可します。

連結モードを省略すると、分割されたQRコードシンボルの読み取りは禁止となります。

連結コードの読み取りでは、ブザーの鳴動はは次のようになります。連結コードの最初のコードを読み取ると、ブザーが2回鳴動し連結コードの読み取りモードに入ります。その後は、連結コードを読み取るたびにブザーが1回鳴動し、最後のコードを読み取ると、3回鳴動して連結コードの読み取りを完了します。

連結コードの読み取り順序は任意ですが、すべての連結コードを読み取る必要があります。一度読み取った連結コードは、その連結コードの読み取りが完了するまでは、再度読み取りを行なっても読み取りません。

次の場合は、連結コードの読み取りが完了しなくても、連結コードの読み取りモードを終了して読み取ったデータはすべて破棄されます。

- ・ 連結コードでないQRコードを読み取った場合
- ・ 別の連結コードを読み取った場合
- ・ 読み取り口を3秒以上コードから外した場合
- ・ トリガスイッチを放した場合

連結コードの読み取り中は、連結コードの読み取りが終了するまで、QRコード以外の読み取りは禁止となります。

#### □ P D F 4 1 7

書式： Y [ : [シンボル種別] ]

シンボル種別には、次の値が設定可能です。

シンボル種別	読み取り可能コード
S	マイクロPDF417
M	PDF417

シンボル種別を省略すると、マイクロPDF417、PDF417を読むことができます。

#### □ M a x i C o d e

書式： X



## □ Data Matrix

書式： Z [ : [ シンボル種別 [ 最小コード番号 ] [ - 最大コード番号 ] ] ]

シンボル種別には、次の値が設定可能です。

シンボル種別	読み取り可能コード
S	正方形 Data Matrix
R	長方形 Data Matrix

シンボル種別を省略すると、正方形 Data Matrix，長方形 Data Matrix を読むことができます。

最小コード番号と最大コード番号は、読み取り可能な Data Matrix の最小と最大のコード番号で、シンボル種別ごとに次の値が設定可能です。

設定可能コード番号	シンボル種別
1 ~ 24	S
1 ~ 6	R

最小コード番号 ≤ 最大コード番号 でなければなりません。

最小コード番号と最大コード番号の両方を省略すると、各シンボル種別の最大コード番号までの Data Matrix を読み取ることができます。最大コード番号だけを省略すると、最小コード番号で指定したコード番号の Data Matrix しか読み取れません。コード番号とセル数の対応は以下の通りです。

### 正方形 Data Matrix

コード番号	ROW X COL	コード番号	ROW X COL	コード番号	ROW X COL	コード番号	ROW X COL
1	10 X 10	7	22 X 22	13	44 X 44	19	88 X 88
2	12 X 12	8	24 X 24	14	48 X 48	20	96 X 96
3	14 X 14	9	26 X 26	15	52 X 62	21	104 X 104
4	16 X 16	10	32 X 32	16	64 X 64	22	120 X 120
5	18 X 18	11	36 X 36	17	75 X 72	23	132 X 132
6	20 X 20	12	40 X 40	18	80 X 80	24	144 X 144

## 長方形DataMatrix

コード 番号	ROW X COL	コード 番号	ROW X COL
1	8 X 18	4	12 X 36
2	8 X 32	5	16 X 36
3	12 X 26	6	16 X 48

## □ EAN・UCC Composite

書式： V

共通商品コード、EAN-128、RSSのCompositeバーコードを読み取ることができます。

## □ 共通商品コード (JAN, EAN, UPC)

書式： A [:[コード] [1文字目 [2文字目] ] [サプリメンタル]

コードには、次のどれかを指定してください。

コード	バーコードタイプ
A	EAN-13 (JAN-13) , UPC-A
B	EAN-8 (JAN-8)
C	UPC-E

コードを省略すると、上の共通商品コードのどれでも読むことができます。

1文字目と2文字目は先頭文字 (国フラグ) であり、0～9の数字で指定してください。

サプリメンタルにSを指定すると、サプリメンタルコードの読み取りが可能になります。

## □ インターリーブド2 of 5 (ITF)

書式： I [: [最小桁数 [-最大桁数] ] [CD]

最小桁数と最大桁数は、バーコードの最小桁数と最大桁数です。2～99の値を指定できますが、**最小桁数 ≤ 最大桁数**でなければなりません。最小桁数と最大桁数の両方を省略すると、システムモードで設定された最小読み取り桁数から99桁

までのバーコードを読み取ることができます。**最大桁数**だけを省略すると、**最小桁数**で指定した桁数のバーコードしか読み取れません。

**CD**に**C**を指定すると、チェックデジットが指定されて、バーコードはMOD-10によりチェックされます。桁数にはチェックデジットも含まれます。

#### ☐ **C o d a b a r (NW7)**

書式: N[:**最小桁数**[-**最大桁数**]]**[スタート ストップ]** **[CD]**

**最小桁数**と**最大桁数**は、バーコードの最小桁数と最大桁数です。2～99の値を指定できますが、**最小桁数**≤**最大桁数**でなければなりません。**最小桁数**と**最大桁数**の両方を省略すると、システムモードで設定された最小読み取り桁数から99桁までのバーコードを読み取ることができます。**最大桁数**だけを省略すると、**最小桁数**で指定した桁数のバーコードしか読み取れません。

**スタート**と**ストップ**は、スタートキャラクタとストップキャラクタです。A, B, CまたはDを指定してください。桁数には、スタートキャラクタとストップキャラクタも含まれます。

**CD**に**C**を指定すると、チェックデジットが指定されて、バーコードはMOD-16によりチェックされます。桁数にはチェックデジットも含まれます。

#### ☐ **C o d e 3 9**

書式: M[:**最小桁数**[-**最大桁数**]] **[CD]**

**最小桁数**と**最大桁数**は、バーコードの最小桁数と最大桁数です。2～99の値を指定できますが、**最小桁数**≤**最大桁数**でなければなりません。**最小桁数**と**最大桁数**の両方を省略すると、システムモードで設定された最小読み取り桁数から99桁までのバーコードを読み取ることができます。**最大桁数**だけを省略すると、**最小桁数**で指定した桁数のバーコードしか読み取れません。

**CD**に**C**を指定すると、チェックデジットが指定されて、バーコードはMOD-43によりチェックされます。桁数にはチェックデジットも含まれます。

#### ☐ **C o d e 9 3**

書式: L[:**最小桁数**[-**最大桁数**]]

最小桁数と最大桁数は、バーコードの最小桁数と最大桁数です。2～99の値を指定できますが、**最小桁数≤最大桁数**でなければなりません。最小桁数と最大桁数の両方を省略すると、システムモードで設定された最小読み取り桁数から99桁までのバーコードを読み取ることができます。最大桁数だけを省略すると、最小桁数で指定した桁数のバーコードしか読み取れません。

□ **GS1-128/EAN-128/Code 128**

書式： K [ : [最小桁数 [-最大桁数] ]

最小桁数と最大桁数は、バーコードの最小桁数と最大桁数です。2～99の値を指定できますが、**最小桁数≤最大桁数**でなければなりません。最小桁数と最大桁数の両方を省略すると、システムモードで設定された最小読み取り桁数から99桁までのバーコードを読み取ることができます。最大桁数だけを省略すると、最小桁数で指定した桁数のバーコードしか読み取れません。

□ **GS1 DataBar (RSS)**

書式： R

□ **多段コード読み取り**

書式： &

多段コードを読み取るには、&を指定し、その後に続けて読み取るコードを指定します。段数は3段まで設定できます。

&, <1段目読み取りコード>, <2段目読み取りコード>, <3段目読み取りコード>と設定してください。

多段コードとして指定できる読み取りコードは、共通商品コード, インターリーブド of 25 (ITF), Codabar (NW7), Code 39, Code 93, Code 128です。

(1) 多段コード指定は1段で読む読み取りコードの指定とは独立しています。

例：共通商品コードEAN-8とEAN-13の2段の場合

A:B, A:A

例：共通商品コードEAN-8を1段とCode 39を2段の場合

A:B, &, M, M

2段コードは最後に指定します。

- (2) 2次元コードと多段コードを同時に指定で指定することができます。

例：QRコードとCode 39 3段の場合

10桁のコードでCD付き」

**Q, &, M, M, M**

- (3) 多段コード指定では先頭の2文字を指定することで読み取り順序を指定することが可能です。

例：ITF 3段（文字指定付き）次の順序で読み取る場合－「“12”で始まるコード」，「“34”で始まる6～10桁のコードでCD付き」，「“56”で始まる12桁のコード」

**&, I::12, I:6-10C:34, I:12:56**

- (4) コード種類が同じでデータも同じコードが含まれる場合は読み取りができません。

1段目 EAN-13 4912345678901

2段目 EAN-13 12000000000003

3段目 EAN-13 4912345678901

上記コードは、次の指定で読み取ることはできません。

**&, A:A49, A:A12, A:A49**

- (5) コード種類、桁数、条件が同じ指定を1段読み取りと多段コード読み取りに指定した場合、1段コードは読み取りができません。

1段コード EAN-13 4901234567894

多段コード EAN-13 4909876543214

EAN-13 12000000000003

上記コードは、次の指定で読み取ることはできません。

**A:A49, &, A:A49, A:A12**

- (5) 多段コード指定ではITFは4桁未満のものを読み取ることができません。ただし、桁数を指定した場合は読み取ることができます。

- (6) 共通商品コードのサプリメンタルコードの多段コード指定はできません。

## 2-3 データ保存

照合結果を保存して送信する場合は、[照合結果を保存する] をチェックして設定してください。

新しい業務 設定(BHT-800)

ここをクリック →

データ区分  
照合条件  
データ保存  
キャンセル  
更新

☒ 照合結果を保存する

保存ファイル名  保存フィールド数

保存条件

F 1	HtNo		8	桁
F 2	データ区分データ	1	桁目から	20 桁
F 3	検索キー入力パスワード	1	桁目から	20 桁
F 4	照合データ入力パスワード 1	1	桁目から	20 桁
F 5	照合データ入力パスワード 2	1	桁目から	20 桁
F 6	OK/NG			
F 7	日付(YYYY/MM/DD)			

送信データレイアウト

HtNo	データ区分データ	検索キー入力パスワード	照合データ入力パスワード 1
8	20	20	20

設定項目	説明
保存ファイル	保存するファイル名を設定します。HT内のファイル名と重複しないようにしてください。 <大文字半角英数字 1～8 文字>、<拡張子（大文字半角英数字 1～3 文字）> (拡張子に PD3, PD4, EX3, FN3, FLD, EXE, BAT, DLL, JPG, TMP を使用しないでください。)
保存フィールド数	保存するデータのフィールド数を最大 16 フィールドまで設定します。
保存条件	照合OK, 照合NG, 照合OK/NG から選択します。 照合OK: 照合OKになった場合にデータを保存 照合NG: 照合NGになった場合にデータを保存 (エラー表示した場合はデータ保存しません) 照合OK/NG: 照合OKと照合NGの場合にデータを保存

## ■ 保存フィールド設定

フィールドデータとして、H t N o、データ区分、検索キー入力バーコード、照合データ入力バーコード、OK/NG、日付、時刻 から選択します。

フィールドデータ	説明
H t N o	H Tのサブメニューで設定したH t N o
データ区分	データ区分を設定した場合のみ設定できます。
検索キーバーコード	検索キーにおいて読み取ったバーコードデータ キー入力した場合は、キー入力データになります。
照合データ入力バーコード 1～10	照合データ1～10において読み取ったバーコードデータ
OK/NG	“OK” or “NG”
日付（YYYY/MM/DD）	YYYY/MM/DD（10桁）を保存します。
日付（YYYYMMDD）	YYYYMMDD（8桁）を保存します。
時刻（HH:MM:SS）	HH:MM:SS（8桁）
時刻（HHMMSS）	HHMMSS（6桁）

データ区分、検索キー入力バーコード、照合データ入力バーコードの場合、保存するデータを先頭位置と桁数（保存桁数）を設定します。

フィールド1 データ区分 1 桁目から 16 桁

上記の場合、データ区分の1桁目から16桁のデータを保存します。

「9999桁目から16桁」と設定した場合は、「末尾から16桁」のデータを保存します。

## ■ 送信データレイアウト

設定に対応した送信データレイアウト（各フィールドの桁数）を表示します。

送信データレイアウト			
HtNo	データ区分データ	検索キー入力バーコード	照合データ入力バーコード1
4	8	10	10
◀     ▶			

## 2-4 デ設定更新

[更新] をクリックすると設定データを更新します。設定は業務設定データに保存します。

新しい業務 設定(BHT-800)

データ区分  
照合条件  
データ保存  
キャンセル

照合結果を保存す  
保存ファイル名 DATA.TXT  
保存条件 照合OK  
保存フィールド数 8

ここをクリック → 更新

F 1	HtNo	8	桁
F 2	データ区分データ	1 桁目から	20 桁
F 3	検索キー入力パスワード	1 桁目から	20 桁
F 4	照合データ入力パスワード 1	1 桁目から	20 桁
F 5	照合データ入力パスワード 2	1 桁目から	20 桁
F 6	OK/NG		
F 7	日付(YYYY/MM/DD)		

送信データレイアウト

HtNo	データ区分データ	検索キー入力パスワード	照合データ入力パスワード 1
8	20	20	20



### 3 マスターファイル

#### 3-1 マスターファイル作成

##### ●ファイル名

ファイル名は、HT内のファイル名と重複しないように、下記の書式で入力してください。

<大文字半角英数字 1～8 文字>、<拡張子（大文字半角英数字 1～3 文字）>

（拡張子にPD3, PD4, EX3, FN3, FLD, EXE, BAT, DLL, JPG, TMPを使用しないでください。）

##### ●フィールドファイル

固定長テキストファイルの場合、フィールド情報を下記の書式でFLD拡張子のファイルを作成してください。

<第1フィールド桁数>、<第2フィールド桁数>、・・・<第Nフィールド桁数>>

設定桁数範囲：1 ～ 3500

例）データファイルがMASTER.TXTの場合は、フィールドファイル名はMASTER.FLDになります。

第1フィールド 桁数=13 第2フィールド 桁数=4 第3フィールド 桁数=13の場合のファイル内容は、13, 4, 13 になります。

##### ●データフィールド構成

###### 1) データ]区分の文字列表示マスターファイル

第1フィールド	第2フィールド
データ区分	表示文字列

第1フィールドと第2フィールドが左記データであれば、フィールド数3～20でも動作します。

###### 2) 照合マスターファイル

第1フィールド	第2フィールド	第3フィールド	第4フィールド	・・・	第nフィールド
検索キーデータ	参照データ数	参照データ1	参照データ2	・・・	参照データn-2

参照データ数は、1～10の範囲内で設定します。参照データ数の最大に合わせてフィールド構成して作成してください。参照データ数が最大5の場合は、検索キーデータと参照データ数のフィールド加えた合計7フィールドのマスターファイルを作成します。

###### 3) 照合データの情報表示マスターファイル

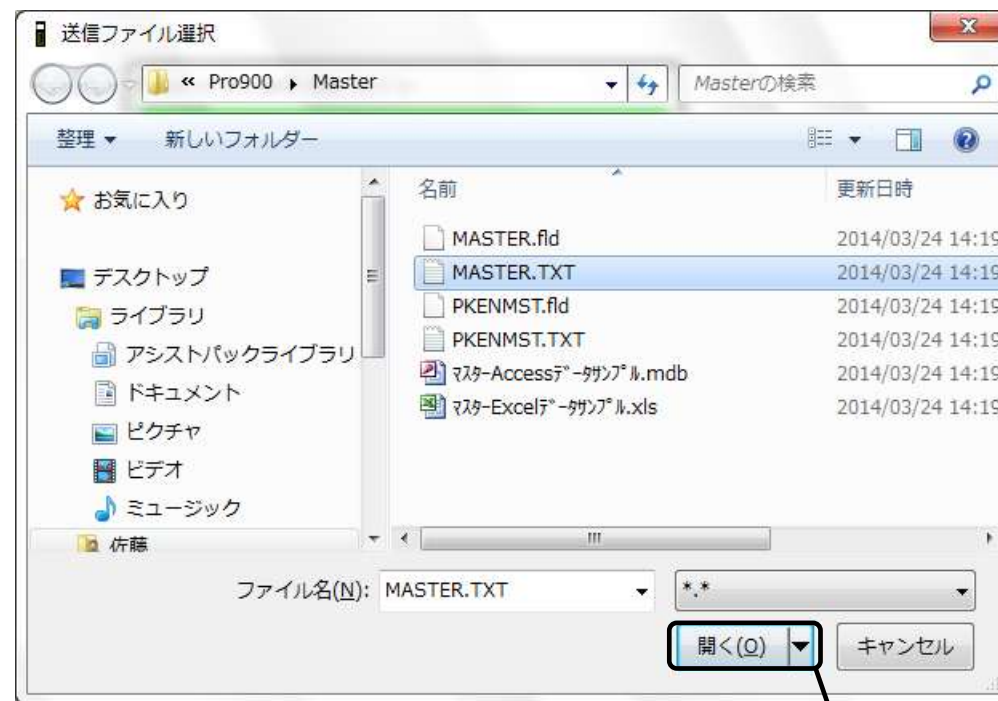
第1フィールド	第2フィールド
照合データ	表示文字列

第1フィールドと第2フィールドが左記データであれば、フィールド数3～20でも動作します。

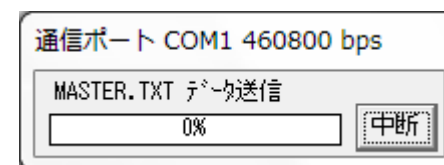
■ 各フィールド長は、半角3500桁以下で作成してください。

### 3-2 マスターファイル送信

マネージャープログラムの「データ送信」ボタンをクリックします。



マスターファイルを選択してクリック



**サブメニュー**

1. システム情報表示
2. 日付時刻設定
3. HtNo 設定
4. Bluetooth 設定
5. 業務設定受信
6. 業務設定送信
7. バーコード読取テスト
8. 全データ消去
- 9. ファイル受信**
10. リモート受信

**M1** 戻る **M2** 実行

**M2** 実行



**ファイル受信**

通信ポート選択

1. CU-RS232 (115.2K)
- 2. CU-USB (460.8K)**
3. Bluetooth
4. #####. PD4
5. \$\$\$\$\$\$. PD4

**M1** 戻る **M2** 選択

**M2** 選択



**ファイル受信**

通信ユニットに  
セットしてください

**M1** 戻る CU-USB



通信ユニット  
にセット

通信ポート COM1 460800 bps

MASTER.TXT 送信中

49%

中断



プログラム転送

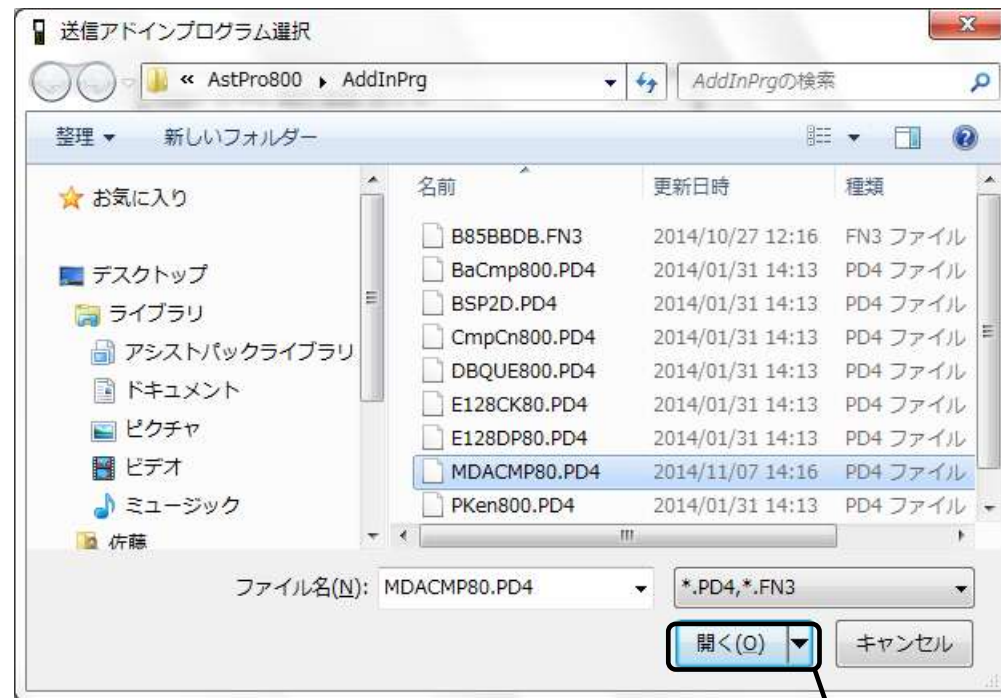
正常終了

OK

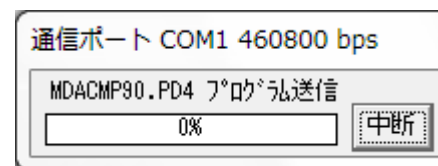
## 4 ハンディターミナルプログラム

### 4-1 アドインマスター参照照合プログラムダウンロード

アドインマスター参照照合プログラム「MDACMP80.PD4」をBHT-800にダウンロードします。



MdaCmp80. PD4 を  
選択してクリック



**サブメニュー**

1. システム情報表示
2. 日付時刻設定
3. HtNo 設定
4. Bluetooth 設定
5. 業務設定受信
6. 業務設定送信
7. バーコード読取テスト
8. 全データ消去
- 9. ファイル受信**
10. リモート受信

**M1** 戻る **M2** 実行

**M2** 実行



**ファイル受信**

通信ポート選択

1. CU-RS232 (115.2K)
- 2. CU-USB (460.8K)**
3. Bluetooth
4. #####.PD4
5. \$\$\$\$\$\$\$\$.PD4

**M1** 戻る **M2** 選択

**M2** 選択



**ファイル受信**

通信ユニットに  
セットしてください

**M1** 戻る CU-USB



通信ユニット  
にセット

通信ポート COM1 460800 bps

MDACMP80.PD4 送信中

57%

中断



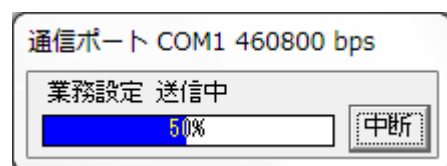
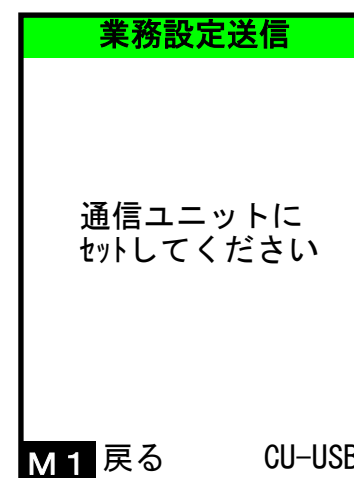
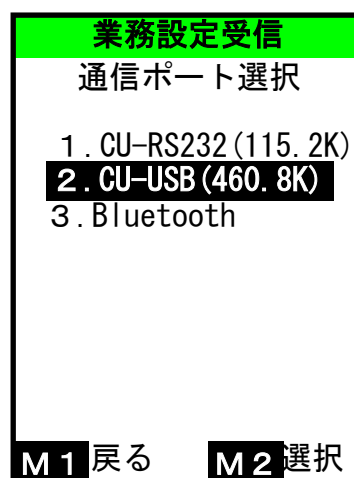
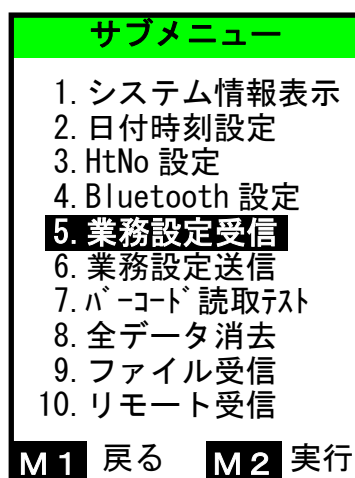
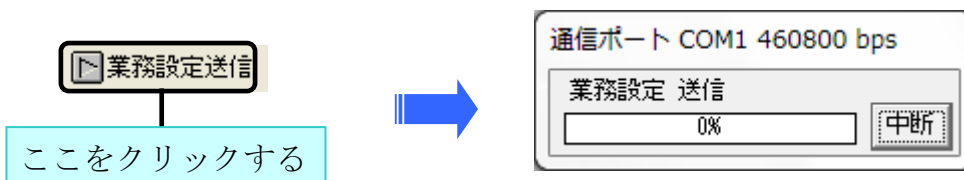
プログラム転送

正常終了

OK

## 4-2 業務設更新

アドインマスター参照照合を設定した業務設定をBHT-800に送信して更新します。



#### 4-3 アドイン照合プログラム実行

業務メニュー ▼

1. マスター参照照合

F1 Ver F2 サブメニュー M2 実行

M2 実行




データ区分を設定した場合にのみ表示します。

マスター参照照合

データ区分  
■ . . . . .

M1 終了 M2 確定

 検索キー入力画面

#### 4-4 登録順照合

照合データの登録順番にデータを表示し、これに従って照合します。

**マスター参照照合**

検索キー

.....

M1 戻る

データ区分を設定しない場合は「終了」を表示します。

検索キー入力：  
キーとバーコードの入力可能です。

照合データ入力：バーコード入力のみ。

照合データ  
取得

照合OK

次の照合

M1 戻る

**マスター参照照合**

照合データ

4912345678901

マスターから取得した照合データの  
情報表示  
照合データと合わせて最大10  
行まで表示します

M1 戻る 0 / 5

照合マスターから取得した  
照合データを表示、

照合OK

次の照合

**マスター参照照合**

照合データ

4912345678901

入力した照合データの  
情報表示

OK

照合NG

タイマー or キー  
入力

照合OK数 / 全照合データ数

最後の  
照合OK

**マスター参照照合**

照合データ

4912345678901

入力した照合データの  
情報表示

NG

**マスター参照照合**

照合データ

4912345678901

入力した照合データの  
情報表示

OK

全照合を終了  
検索キーの  
入力画面へ

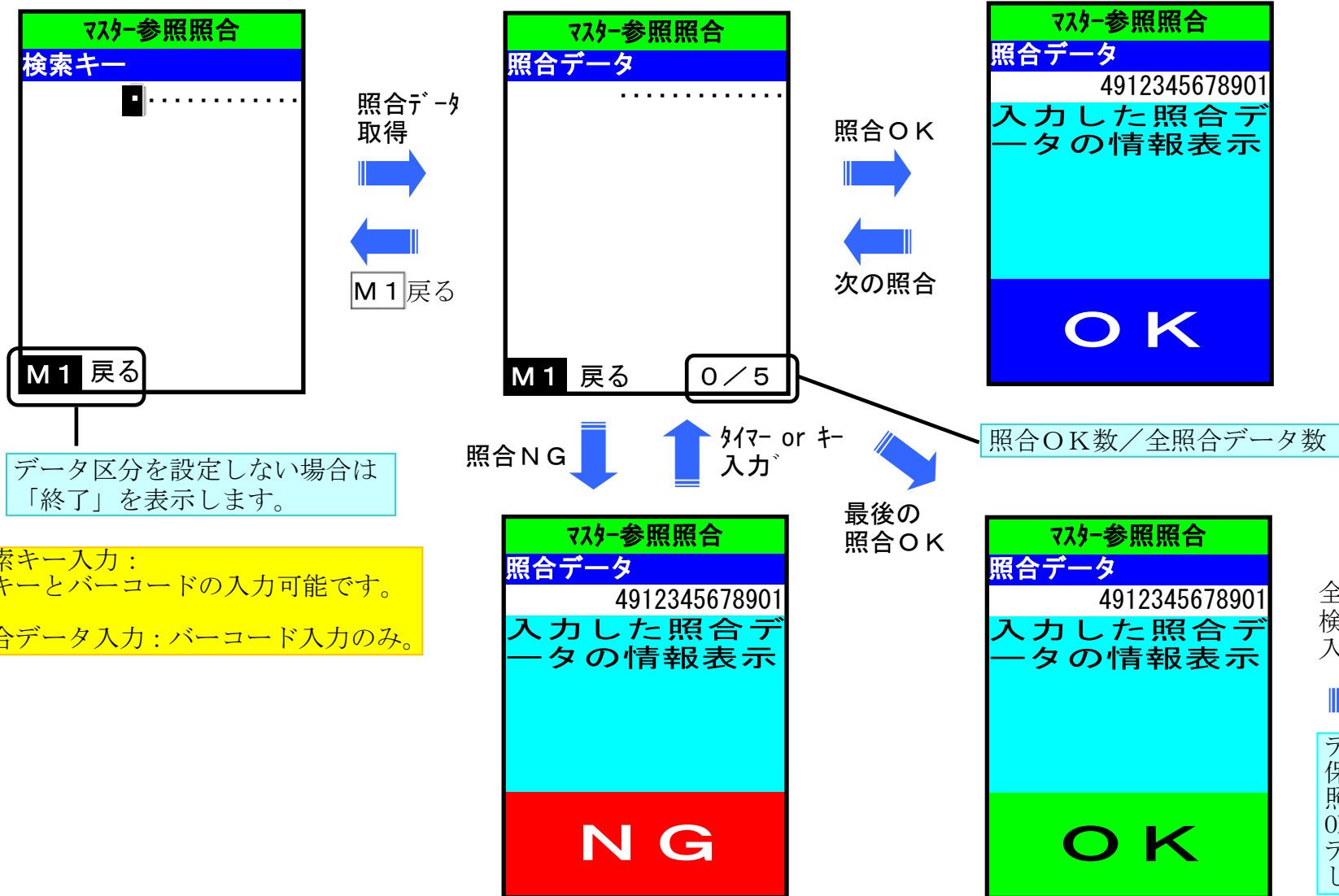


データ保存で  
保存条件が  
照合OK、照合  
OK・NGの場合に  
データを保存  
します。



#### 4-5 順不同照合

照合データの登録順番に関わらず照合します。



#### 4-6 入力／データ処理エラー表示

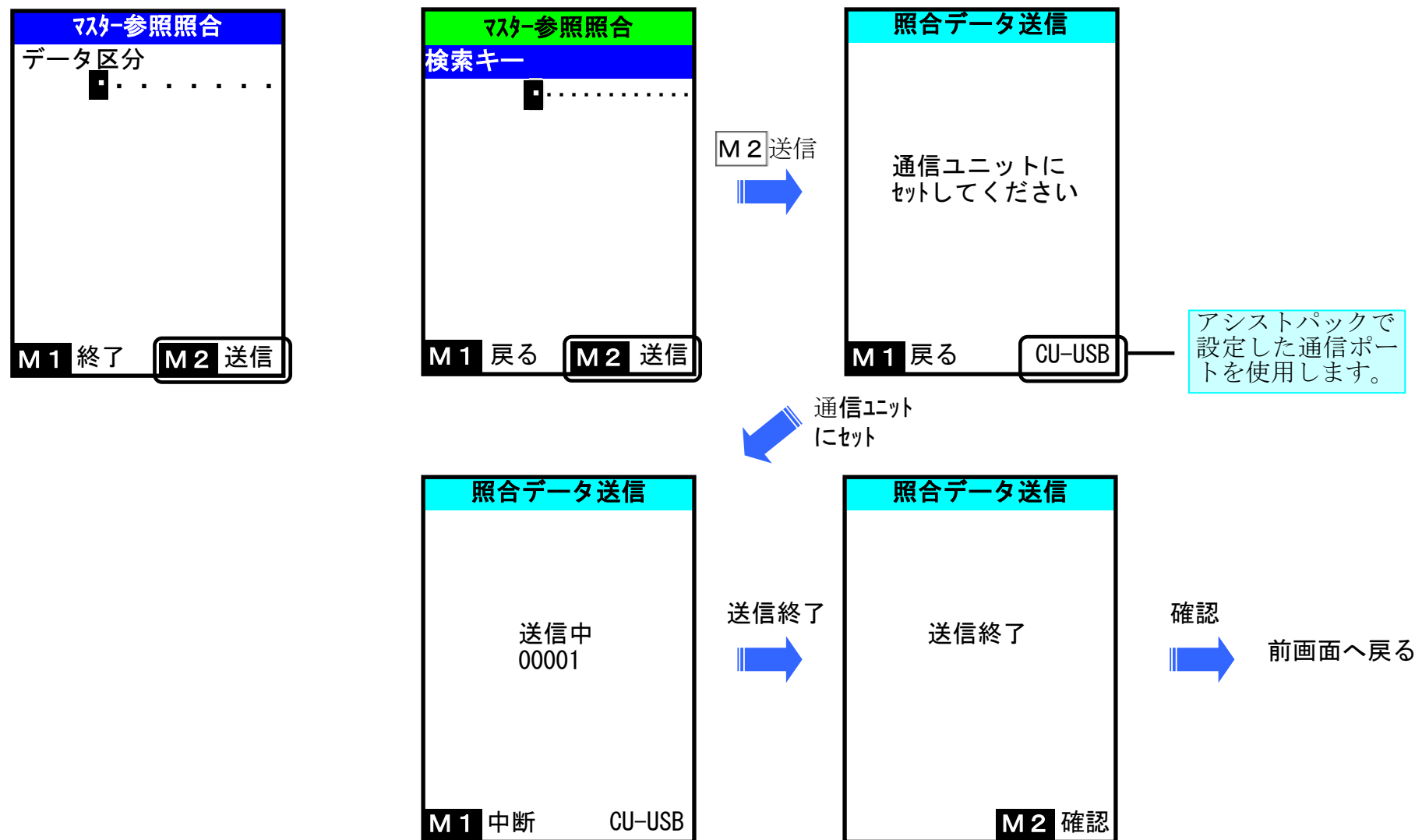
入力またはデータ処理時にエラーが発生すると、最下位行にエラー状況を表示し、ブザーまたはバイブレータで警告します。

エラー	エラー表示	内容
未入力エラー	未入力エラー	未入力において入力確定した
入力文字数エラー	入力文字数エラー	最小入力桁数未満のデータ入力において、入力画定した
入力文字エラー	入力文字エラー	数字（0 詰め表示）と数字（0 サプレス表示）のデータ形式において、バーコードにCODE 3 9, CODE 9 3, CODE 1 2 8 など数字以外のデータを扱うバーコードを設定して、数字以外の文字を読み取った
入力値エラー	入力値エラー	日付または時刻のデータ形式において、入力できない値を入力した （例：日付のデータ形式において、月の値に 20 を入力）
バーコード 桁数エラー	バーコード 桁数エラー	バーコード読取桁数が設定範囲外の桁数を読み取った
バーコード 長オーバー	バーコード 長オーバー	バーコード読取桁数が 3 5 0 0 桁を超えた桁数を読み取った
データ検査エラー	データ検査エラー	設定したデータ検査においてエラー発生
バーコード データエラー	バーコード データエラー	フォーマットが「カンマ区切り」, 「スペース区切り」, 「タブ記号区切り」, 「CR 記号区切り」の場合、読み取ったバーコードデータに必要なデータ数がない
マスターファイルがない	マスターファイルがない	情報表示マスターファイルまたは照合マスターファイルがない
照合データ未登録	照合データ未登録	照合マスターファイルに検索キーデータが登録されていない
マスター登録データ異常	マスター登録データ異常	照合マスターから読み取った照合データ数, 照合データが異常
処理エラー	処理エラー	上記以外のエラー

データ保存設定の場合、上記のエラーが発生した場合はデータを保存しません。

#### 4-7 保存データ送信

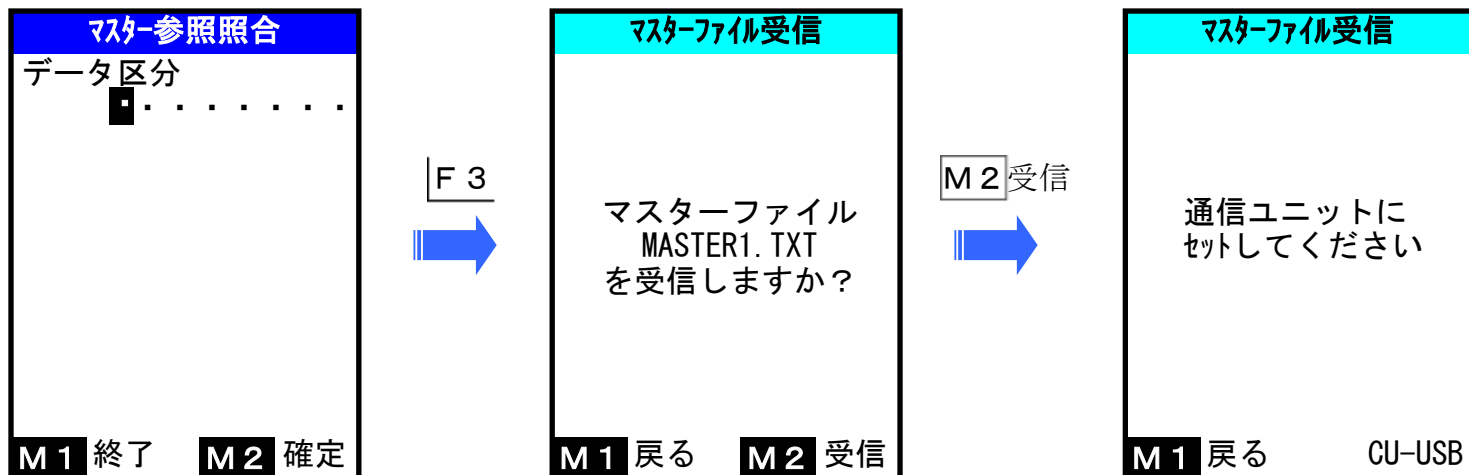
データ保存が設定されている場合、データ保存されると、「データ区分入力画面」，「剣先キー入力画面」の右下に **M2** 送信を表示します。



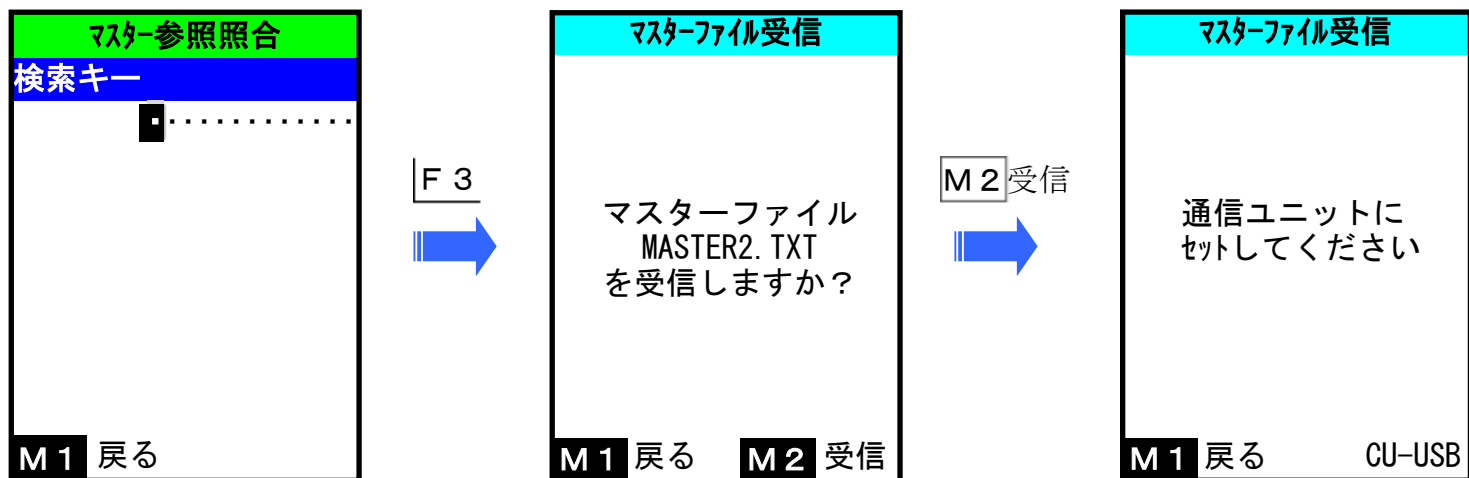
#### 4-8 マスターファイルダウンロード

照合マスターファイル，データ区分の情報表示マスターファイル，照合データの情報表示マスターファイルの3種類のマスターファイルがあります。

##### ● データ区分の情報表示マスターファイル



##### ● 照合マスターファイル

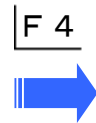


●照合データの情報表示マスターファイル

マスター参照照合  
検索キー

■.....

M 1 戻る



マスターファイル受信

マスターファイル  
MASTER3.TXT  
を受信しますか？

M 1 戻る M 2 受信



マスターファイル受信

通信ユニットに  
セットしてください

M 1 戻る CU-USB